

“医療”としての インプラント治療を広めるために 外科医としてのプロの素養とモラルを問う



野口 誠 × 新谷 徳

東北大学大学院歯学部口腔顎顔面外科内科学講座・教授
（所在地：〒981-8559 仙台市青葉区中央1-13-1）

東北大学歯学部口腔顎顔面外科内科学講座・教授
（所在地：〒981-8559 仙台市青葉区中央1-13-1）

大塚医師は、
インプラント治療の駆け込み寺となりつつあるという、
自身の判断により、自分の力量を超えた治療を安易に行っている現状
それは“医療者としてのモラル”の欠陥に他ならない。
外科医であり、大学病院でバイオリコーダー運営を
担当されている大塚医師は、
“医療”としてのインプラント治療を広めるために必要なことは何か、
対談を通して聞いていただいた。